

令和2年度の主な事業

今年度の主な事業を紹介します。事業は目的別に分類しています。

- ◆は新規事業
- ◆は継続事業

総務費

◆ホームページシステム構築事業 (1077万円)

新ホームページシステムの構築により、業務の効率化および防災・防犯メール連携機能を追加し災害対応等の迅速な情報発信を図ります。

◆市庁舎維持補修事業 (4547万円)

公共施設等の適切な維持・保全を図る観点から、公共施設劣化・耐震診断を実施したところ、市役所東庁舎1階の耐震性が不足することから東庁舎耐震補強を実施します。

(写真①)

◆地方創生推進事業 (1062万円)

道の駅かくだにおける賑わいを市内各所に循環させるため、道の駅かくだを賑わいの交流拠点としての機能を強化しつつ、かくだスポーツビ

レッジの利用者の増加および利便性の向上を図り、市内に点在する観光地を結びつけ、地域経済の好循環を生み出すきっかけを創出します。

◆地域協力活動推進事業 (1440万円)

都市住民を地域おこし協力隊員として受け入れ、一定期間以上地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域活動の支援や農林産業への従事、住民の生活支援等を行いながら地域への定住・定着を図ります。

民生費

◆教育・保育給付事業 (4億3118万円)

私立保育所、幼保連携型認定こども園、私立幼稚園および小規模保育事業者へ施設運営等に係る費用を給付し、適切な保育の提供を行います。また、幼児教育・保育の無償

化に対応し、給付額を拡充します。

◆利用者支援事業(母子保健型) (284万円)

主に妊産婦および乳幼児の実情を把握するとともに、必要に応じて支援プランの策定や保健医療又は福祉に関する関係機関との連絡調整を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行います。

農林業費

◆野菜振興事業 (150万円)

野菜の生産・販売拡大を図るため、新たに園芸農業促進事業費補助金を交付し、園芸農業用パイプハウス等の施設導入の一部を助成することで、施設園芸の普及と園芸作物の安定的な生産・供給体制を支援します。

◆多面的機能支払交付金事業 (1億48万円)

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動および農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う組織を支援します。

(写真②)

◆農地整備事業 (473万円)

区画形状の拡大、農道、暗渠排水等を整備し、汎用耕地による土地利用を向上させ、農業生産性の向上、農業構造の改善を図ります。

◆林業振興対策事業 (817万円)

ナラ枯れ被害本等の駆除業務を実施し、病害虫被害の拡散を防ぐとともに、里山林の景観維持のため、新たにみなの森林づくりプロジェクト推進事業に取り組む団体を支援します。また、森林経営管理制度意向調査を実施し、森



▲市庁舎の耐震補強を実施



▲多面的機能支払交付金対象団体の草刈作業



▲消防団員の装備品や資機材を整備し、消防団体制の強化を図る



▲交通公園の遊び場を整備して「幼児の遊び場の拠点」として定着させる



▲道の駅かくだオープンから1年。賑わいの交流拠点として管理運営を継続

商工費

観光振興推進事業

(1182万円)

交流人口の拡大による地域活性化を図るため、地域資源を活用した観光イベント運営業務を実施します。また、民間の力を活用して各種イベント等に参加しPRすることにより、観光物産の振興を図ります。

道の駅かくだ管理運営事業

(2409万円)

道路利用者への快適な休憩場所と地域情報の提供および市内外のヒトとモノの交流を促進することにより、地域活性化を図るため賑わいの交流拠点施設道の駅かくだの管理運営事業を実施します。

(写真③)

土木費

沼南野田前線道路整備事業

(3748万円)

小田川の河川管理者である宮城県との共同工事で沼南橋の橋梁整備を行うとともに、

林環境の整備を図ります。

併せて沼南野田前線の整備を行います。

交通公園幼児用遊び場整備事業

(2500万円)

交通公園の芝生スペースの一角に幼児用遊具の遊び場を設置し、「幼児の遊び場の拠点」としてかくだスポーツビレッジおよび道の駅かくだの相互利用者を増加させ、かくだ版スポーツツーリズムの推進を図ります。

(写真④)

消防費

消防体制確立事業

(2780万円)

災害時における効果的な救助活動を図るため、消防活動や水防活動等に従事する消防団員の装備品および資機材を整備し、消防団体制の強化を図ります。

(写真⑤)

災害対策事業

(1263万円)

様々な災害からの被害を最小限にとどめるため、安心安全メール配信システムを更新し、メール配信に加え固定電話およびFAXで緊急時の情報を配信します。また、風水

害等の自然災害を起因とする土砂災害により、被害を受けた住宅地に係る復旧工事を行う方を支援するため、助成金を交付します。

教育費

学校統廃合準備事業

(88万円)

「角田市学校の適正規模等に関する基本構想」に基づき、統合準備委員会の設置や交流事業の実施により、学校統合の準備を行います。

学力向上推進事業

(834万円)

学校図書館支援員を配置し、児童生徒の読書環境の充実を図ります。また、角田市独自の学力テストを行い、児童生徒の個々の課題を把握し学習指導等に生かし学力向上に取り組みます。

子どもの心のケアハウス運営事業

(1362万円)

小中学校における不登校等の問題を抱える児童生徒やその保護者に、教育相談、生活相談、学習指導等の支援を行い、不登校等の児童生徒の自

立や学校生活への自発的な復帰を促し、健全な児童生徒を育成します。

総合体育館管理運営事業

(1億112万円)

総合体育館のアリーナ床の改修を行い安全で快適な体育施設の管理を行います。また、床改修に伴い、老朽化したバレーボールのネット支柱の更新も行い、施設の利便性の向上や快適な体育施設の管理を行います。

※総合体育館のアリーナは、改修工事のため令和2年8月末まで閉鎖となります。

(写真⑥)



▲安全で快適な施設の管理のため、総合体育館アリーナ床を改修